

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 交通体系・道路網の整備

施策コード 060103

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 道路公園課
関係課	都市計画課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 心地よく、くつろぎを感じるまちづくり (快適・憩い)	節 第1節 道路・交通
	施策	交通体系・道路網の整備	

基本方針

- ・ 都市内幹線道路のネットワークの形成をめざし、地域の状況に応じた事業手法により、道路の整備を推進します。
- ・ 市民の利便性や安全性を向上するため、泉佐野土丸線や笠松末広線(一部拡幅)をはじめとした都市計画道路や駅前広場の整備を進め、交通体系の整備を推進します。

現況と課題

- ・ 幹線道路は、都市の骨格を形成するだけでなく、市民生活の利便性や産業の活力を高めるなど、都市の発展に欠かせない重要な都市基盤です。
- ・ 本市では、空港直結の高速道路をはじめ、広域的な幹線道路の充実により、ひと、もの、文化の交流が促進されるだけでなく、産業立地の機運も高まっています。
- ・ 活力ある都市の発展を見すえた広域的な幹線道路網の整備促進に加えて、地域の一体性の確立と均衡ある発展に欠かせない都市内幹線道路網の整備が重要です。
- ・ 道路は、日常生活に欠かせない社会基盤であることから、交通渋滞の解消や安全で快適な歩行空間を確保するなど、総合的な道路環境の向上に努めていく必要があります。
- ・ 中心市街地の再生と活性化が急務となっており、特に、市の玄関口である南海泉佐野駅周辺地区における防災性の向上や安全で快適な都市空間の形成、多様な都市機能の集積が大きな課題となっています。こうしたなか、南海本線連続立体交差事業や泉佐野駅前広場整備事業など都市の魅力向上に取り組んできました。

施策目標

対象 (誰を、何を、どこを)

市民

意図 (どのような状態にしたいのか)
道路ネットワークなどの交通基盤整備を進め、交通の円滑化を図り都市の活力と魅力を生み出す交通体系を形成します。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	44.6						49.5
重要度 (偏差値)	48.7						47.8

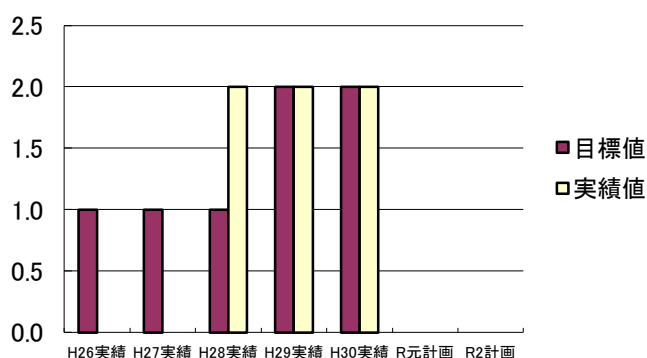
4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	千円	H29決算	H30決算				
	事業費		0	0				
	フルコスト		0	0				
財源の内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金							
	市債							
	その他							
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		0	0				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	0	0						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		都市計画道路新規着手の路線数 (累計)					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0		
実績値	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0		
達成度			200.0	100.0	100.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
着手路線数 (整備路線数) の増加により、周辺地域とのネットワーク化が進み、交通利便性が向上する。		事業期間などを勘案し、5年以内の新規着手を1路線、その後の5年間における新規着手を1路線と設定した。			平成28年度に泉佐野土丸線、熊取駅西地区の整備に着手した。		

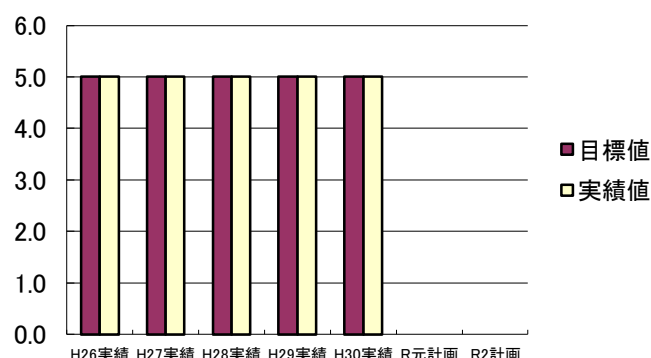
② 成果指標 2		駅前広場の整備数（累計）					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
実績値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
達成度	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
整備箇所が増加により、交通手段がスムーズに接続し、交通結節機能が充実する。		新規整備箇所数を5年間で1箇所と設定。累計で5年後に4箇所、10年後に5箇所を目標値とした。			平成19年度末で、りんくうタウン駅、JR日根野駅及び南海泉佐野駅（東側）の駅前広場は完了しており、平成23年度には泉佐野駅前広場（西口）、平成26年度には東佐野駅前広場の整備が完了した。		

③ 成果指標 3		市道認定道路路線数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	933.0	934.0	938.0	947.0	948.0		
実績値	933.0	938.0	947.0	947.0	947.0		
達成度	100.0	100.43	100.96	100.0	99.89		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
認定路線数の増加により、地域の交通利便性が向上し、道路環境が充実する。		2箇年で1路線の認定を目標とする。			平成30年度新規認定はなかった。		

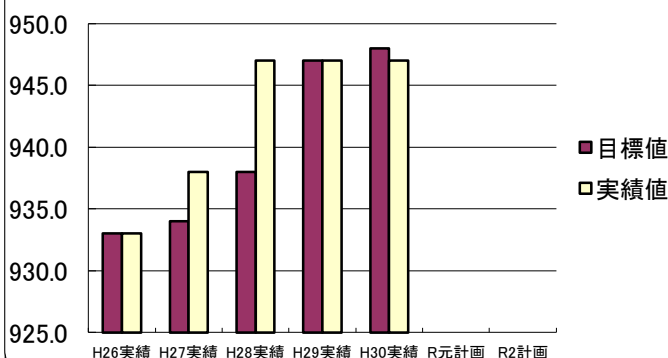
成果指標①



成果指標②



成果指標③



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	平成28年度は泉佐野土丸線、熊取駅西地区の道路整備に着手した。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	満足度が平成24年度44.6から平成30年度49.5に上昇した。交通体系上、結節点となる駅前広場等整備の市民ニーズが高い。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	生活者の利便性向上はもとより、地域活性化に繋がる施策が求められている。
	合計点	(10点中) 8点	
	総合評価	B	平成28年度は泉佐野土丸線、熊取駅西地区の道路整備に着手した。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き、都市計画道路や駅前広場の整備による交通ネットワークの充実に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き、都市計画道路や駅前広場の整備による交通ネットワークの充実に努めること。

7. 施策を構成する事務事業						
事務事業			H30年度決算額			一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
		0	0	0		
合計						